

Title	藝文研究既刊總目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	1958
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.8, (1958. 10) ,p.181- 183
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-00080001-0181

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

藝文研究 既刊總目次

◇第一號（一九五一年）美術學特集

- 創刊の辭……………西脇 順三郎
 ミケルアンジェロの聖母……………守屋 謙二
 光琳肖像考……………菅沼 貞三
 江戸板木繪第一回の開花期……………澁井 清
 播磨國常福寺裏山經塚出土品に緣つて……………保坂 三郎
 大佛師康助の遺作に就いて……………岡 直己
 Palazzo Pitti——その原作者の問題につきて——……………相内 武千雄

彙報

◇第二號（一九五二—三年）

- 物語の成長——宇津保物語の場合——……………池田 彌三郎
 俳諧月花の座……………清崎 敏郎
 デュボン・セルデンのこと——その「茶話」をめぐつて——……………藤井 昇
 シュリアン・グリーンの内心の旅路……………作分 純一

- ブッデンプロオク以前……………江澤 建之助
 西ドイツ文學活動の展望……………田中 次郎
 彙報

◇第三號（一九五四年）

- 實用の文學——女と花——……………森 武之助
 住吉物語以後——繼子苛め譚の類型に關する一考……………松本 隆信
 察……………松本 隆信
 聊齋志異研究序説——特に蒲松齡の執筆態度に就いて——……………藤田 祐賢
 Genœal Tradition の崩壞……………安原 基輔
 アンドレ・マルロオの「孤獨」……………大濱 甫
 北野天神緣起繪卷の諸特徴……………八代 修次
 クライストの悲劇性……………高橋 文雄
 彙報

◇第四號（一九五五年）

- 傳統の周圍——芭蕉・西鶴——……………森 武之助
 寺院僧侶の國典研究——主として中世をとりあげて——……………佐佐木 一雄
 曾我物語傳承論……………塚崎 進

紅樓夢の小説性——周汝昌の「紅樓夢新證」をめ

ぐつて——村松 暎

若きヘッセの人生態度乃至世界観——井手 貢夫

反抗と絶望の黒人作家——Richard Wright——安原 基輔

現代英文法の諸傾向——特に口語法について——

原澤 正喜

折口信夫教授講義題目

慶應義塾大學所藏聊齋志異關係資料目録

彙報

◇第五號（一九五五年）

好色五人女——成立をめぐる試論——檜谷 昭彦

近松世話物の考察（序）——鈴木 昇

曾我物語傳承論——その二——塚崎 進

紅樓夢論争に對する批判——村松 暎

トーマス・マンのゲーテ觀——「ヴァイマルのロ

ット」を中心として——小名木榮三郎

對話文學としての「ラモーの甥」——デイドロ研

究序説——原 宏

資料紹介——「東洋之佳人」稿本、「繪人讀本外

題作者畫工書肆名目集」寫本——森 武之助

彙報

◇第六號（一九五六年）

明恵上人説話考——佐佐木 一雄

稿本聊齋志異考勘記——藤田 祐賢

曾國藩について——佐藤 一郎

中國に於ける品詞分類の標記について——

「漢語詞類論争」の問題點——川本 邦衛

シェリーにおける神の問題——瀬下 良夫

リルケ文學解明におけるハイデッガーの誤謬——塚越 敏

アルベール・カミュの思想と風土について

（ジャン・グルニエとの比較による一考察）——片桐 邦郎

彙報

◇第七號（一九五七年）

野守鏡にみられる宗敎性——佐佐木 一雄

おせんとおさん——西鶴の場合——竹重 信幸

ヘルマン・ヘッセに於ける東洋思想概観——飯田 國男

アンドレ・ジッド「ユリアンの旅」の成立について

て.....若林 眞

ラシーヌの “La Thebaide ou Les freres

ennemis” について.....佐藤 眞

イヘインと能・序説 “At the Hawk's Well” と

“The Only Jealousy of Emer” に關する考

察を中心として.....石橋 裕

曾國藩と俗文學.....佐藤 一郎

Plantus における感嘆及び疑問の ut 十直説法又

は接續法の使用について.....藤 井 昇

資料紹介——炎涼岸・女開科傳・知不足齋原本批

點聊齋志異.....藤 田 祐賢

書評——Erwin Panofsky's, Early Netherland-

ish Painting——its origins and character...八代 修次

彙報

編集後記

◎ 本號は今年が慶應義塾創立百年に當るので記念號の形をとつた。但し藝文學會會員で本塾大學學部に所屬される方々は、夫々の學部の記念論文集に執筆されているため、本號執筆者はそれ以外の一般會員より應募されたものである。

◎ 今回本學會及び「藝文研究」の英文呼稱を改めた。それに伴い英文目次の體裁が多少變更されている。

◎ 本號も特定の主題に限らない研究業績の集積である。

◎ 彙報中の會員の活動報告の形式を本號より専門別とした。此の記事はなるべく多く記載したいので、會員各位がたえず御自身直接御連絡下さることを希望する。

◎ 第一號〜第七號の購入御希望の方は、本會事務所に御照會をこころ。(各號定價二〇〇圓)